

リハビリテーション学科(作業療法学専攻) シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
2年	28	作業療法管理学
2年	43	作業療法応用演習
3年	55	作業療法管理学演習
3年	56	作業療法総合演習
3年	63	専門支持科目特別演習

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-2-MNO-01			
	●		●						
科目名	作業療法管理学				単位認定者	山田 裕子		試験 (レポート)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	
					授業形態	講義	授業時間数		16 時間
				授業回数		8 回			
授業の概要	医療人・職業人として必要な生命倫理や職業倫理の他、作業療法の業務運営、チームワーク、リスクマネジメント、ハラスメント等を理解し、所属組織の質を向上させる管理運営についての基礎的知識を身につける。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療報酬、介護報酬の仕組みを説明することができる。 2. 作業療法部門の管理・運営について具体的にのべることができる。 3. 作業療法での記録と報告と重要性を理解し、述べることができる。 								
学修者への期待等	自分が作業療法士として、リーダーとして働くことを意識しながら取り組んでほしい。								
回	授業計画				準備学修				
1	診療報酬・介護報酬、組織運営について学ぶ				科目専用ノートを準備すること（概ね30分）				
2	セルフマネジメント①：専門職としての自己研鑽について（講義）				前回までの内容を理解しておくこと（概ね30分）				
3	セルフマネジメント②：専門職としての自己研鑽について（グループワーク）				第1・2回の内容を理解し臨むこと（概ね30分）				
4	チームマネジメント①：IPWについて（講義）				前回までの内容を理解しておくこと（概ね30分）				
5	チームマネジメント②：IPWについて（グループワーク）				第4回の内容を理解し臨むこと（概ね30分）				
6	組織マネジメント①：管理者の視点（講義）				前回までの内容を理解しておくこと（概ね30分）				
7	組織マネジメント②：管理者の視点（グループワーク）				第6回の内容を理解して臨むこと（概ね30分）				
8	働きやすい職場をつくる（グループワーク、発表）				前回までの内容を理解しておくこと（概ね30分）				
教科書	『作業で結ぶマネジメント 作業療法士のための自分づくり・仲間づくり・組織づくり』澤田辰徳、齋藤佑樹、上江洲聖、友利幸之介、医学書院								
参考文献	適宜紹介します								
備考									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

精神科病院に勤務しながら、長年臨床業務や後輩指導等に携わってきた。近年では、関連施設の立ち上げも経験し、施設長として管理業務も経験している。これまでの経験を踏まえ、本科目を担当する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-2-TOT-11				
	●	●	●	●						
科目名	作業療法応用演習				単位認定者	須藤 あゆみ		授業内課題	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	作業療法実践に必要な知識・技術・態度について、相互学習法を用いて学びながら分担、協力などのチームアプローチの基盤作りを行う。 また、その過程で自己の課題を認識することや課題解決のための手段を修得すること、そして生涯学び続けるために必要な自己管理能力の向上を図る。									
到達目標	1. 自ら主体的に学ぶための技術を身につける。 2. 解決すべき課題（問）の明確化、解決方法の選択、解決行動ができる。 3. 個別・集団など、与えられた環境を最大限活用して理解を深めることができる。									
学修者への期待等	実習や国家試験等について、グループ学修を中心に学びを深めていきます。学修に対する姿勢はグループ全体の意識や雰囲気に影響しますので主体的な参加を期待します。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	授業ガイダンス 学習内容の把握				シラバスを確認すること（概ね30分）			外里 富佐江 須藤 あゆみ 熊谷 竜太		
2	昨年度の振り返り（基礎三科目を中心に）				昨年度の学習内容を確認しておくこと（概ね60分）					
3	臨床実習を知る：臨床現場で求められる実践力				グループで実施する。 各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）					
4	臨床実習を知る：臨床現場で求められる実践力（グループワーク）									
5	臨床実習を知る：臨床現場で求められる実践力（実技）									
6	臨床実習を知る：臨床現場で求められる実践力（実技）									
7	臨床実習を知る：臨床実習Ⅲの報告会に参加				LMSの資料に目を通しておくこと（概ね30分）					
8	臨床実習を知る：ディスカッション									
9	臨床実習を知る：臨床実習Ⅳの報告会に参加									
10	臨床実習を知る：ディスカッション									
11	国家試験を知る：グループ学修①例題について調べ解説を作成する				課題実施に必要な教科書を準備すること（概ね30分）					
12	国家試験を知る：グループ学修②例題について調べ解説を作成する				第11回での課題を実施すること（概ね30分）					
13	国家試験を知る：グループ学修③例題について調べ解説を作成する									
14	国家試験を知る：グループ学修④例題について調べ解説を作成する									
15	まとめ				これまで学んだことの復習をしておくこと（概ね60分）					
教科書	なし									
参考文献	適宜紹介します									
備考	1～6回、11～15回は3年生の「作業療法総合演習」と合同で行います。配付資料がある場合は、前日までにLMSに投稿します。印刷・PC上での閲覧どちらでも構いません。授業内課題のフィードバックは、当該回の授業内に行います。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-2-CBO-02			
			●	●	●				
科目名	作業療法管理学演習				単位認定者	熊谷 竜太		授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	3年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	
					授業形態	演習	授業時間数		20 時間
				授業回数		10 回			
授業の概要	作業療法管理学の知識をもとに、専門職職業人としての意識を高めるとともに、作業療法教育の現状を知り、今後について考査する。 また、生涯にわたり自己学習を進めるための内省力を養い、自己管理能力の向上を図る。								
到達目標	社会人・職業人として、自分自身のマネジメント、所属組織のマネジメント、チームのマネジメントに必要な知識について学び、要点を説明することができる。								
学修者への期待等	社会人として自己実現を果たすために不可欠な知識を得ることができる科目です。主体的に課題に取り組むことを期待します。								
回	授業計画				準備学修			担当	
1	オリエンテーション、マネジメントの概要				LMSの配布資料を事前に確認（30分程度）			熊谷 竜太	
2	起業に関するマネジメント①(講義・グループワーク)～「起業」とは～							山田 裕子	
3	起業に関するマネジメント②(講義・グループワーク)～起業のための枠組み～							山田 裕子	
4	起業に関するマネジメント③(講義・グループワーク)～ビジネスプランを考える～							山田 裕子	
5	チームマネジメント①(講義・グループワーク)～相手の個性を的確に把握する～							熊谷 竜太	
6	チームマネジメント②(講義・グループワーク)～チームとしての目標設定～							熊谷 竜太	
7	チームマネジメント③(講義・グループワーク)～チームとしてのコミュニケーション～							熊谷 竜太	
8	組織マネジメント①(講義・グループワーク)～組織としての成果～							山田 裕子	
9	組織マネジメント②(講義・グループワーク)～組織における目標～							山田 裕子	
10	組織マネジメント③(講義・グループワーク)～組織におけるコミュニケーション～							山田 裕子	
教科書	『作業で結ぶマネジメント 作業療法士のための自分づくり・仲間づくり・組織づくり』澤田辰徳編、医学書院* ★ 2年次購入済み								
参考文献	適宜紹介します。								
備考	授業内課題のフィードバックは適宜行います。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
熊谷竜太：宮城県作業療法士会に所属し、部や委員会の主担当理事やリーダーを担ってきた。これまでの経験を活かしながら、チームマネジメントについて講義を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-2-TOT-16			
	●	●	●	●					
科目名	作業療法総合演習				単位認定者	熊谷 竜太		授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	3年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		
						授業回数	15 回		
授業の概要	相互学習法を通してチームアプローチの必要性を認識するとともにリーダーシップ力の向上を目指す。また、問題解決能力を高めるとともに、計画性や企画力、創造性、表現能力などを学修し、専門職として備えるべき要素の修得と自己学習能力の向上を図る。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の修得状況を客観的に評価できる。 2. 自己に効果的な学修方法を説明できる。 3. 解決すべき課題（問）の明確化、解決方法の選択、解決行動ができる。 4. リーダーとして他者を牽引できる。 								
学修者への期待等	グループ学修を中心に学びを深めていきます。学修に対する姿勢はグループ全体の意識や雰囲気に影響しますので主体的な参加を期待します。								
回	授業計画				準備学修			担当	
1	オリエンテーション 臨床実習Ⅲ・Ⅳ、地域作業療法実習、国家試験の概要				シラバスを確認すること（概ね15分）			外里 富佐江 須藤 あゆみ 熊谷 竜太	
2	昨年度の振り返り（基礎三科目を中心に）				昨年度の学習内容を確認しておくこと（概ね60分）				
3	臨床現場で求められる実践力を学ぶ グループワーク ～事例①の評価計画立案～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
4	臨床現場で求められる実践力を学ぶ グループワーク ～事例①のクリニカルリーズニング～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
5	臨床現場で求められる実践力を学ぶ 実技 ～事例①に対する評価の実践～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
6	臨床現場で求められる実践力を学ぶ 実技 ～事例①に対する支援の実践～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
7	臨床現場で求められる実践力を学ぶ グループワーク ～事例②の評価計画立案～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
8	臨床現場で求められる実践力を学ぶ グループワーク ～事例②のクリニカルリーズニング～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
9	臨床現場で求められる実践力を学ぶ 実技 ～事例②に対する評価の実践～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
10	臨床現場で求められる実践力を学ぶ 実技 ～事例②に対する支援の実践～				各自必要な教科書、物品の準備をすること。（概ね30分）				
11	国家試験を知る：グループ学修①例題について調べ 解説を作成する				課題実施に必要な教科書を準備し読 んで来ること（概ね30分）				
12	国家試験を知る：グループ学修②例題について調べ 解説を作成する				第11回での課題を実施すること（概 ね30分）				
13	国家試験を知る：グループ学修③例題について調べ 解説を作成する				第11回での課題を実施すること（概 ね30分）				
14	国家試験を知る：グループ学修④例題について調べ 解説を作成する				第11回での課題を実施すること（概 ね30分）				
15	まとめ				これまで学んだことの復習をしておく こと（概ね60分）				
教科書	なし								
参考文献	適宜紹介します								
備考	1～6回、11～15回は2年生の「作業療法応用演習」と合同で行います。配付資料がある場合は、前日までにLMSに投稿します。印刷・PC上での閲覧どちらも構いません。授業内課題のフィードバックは、当該回の授業内に行います。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●	●	●	●	●					
科目名	専門支持科目特別演習				単位 認定者	齋藤 佑樹		評価の方法	試験(筆記)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	自由	3年	開講時期	通年	単位数	2 単位			
				授業形態	演習	授業時間数	60 時間			
						授業回数	30 回			
授業の概要	本講義では、卒業後の活動における理学療法士・作業療法士として必要な総合的能力を統合することを目的とする。とくに、基礎医学・臨床医学分野に関して3年間で学んだ基礎的な知識および技術を整理し、専門職として活躍できるよう学修する。									
到達目標	1. 臨床医学分野に関して3年間で学んだ知識と技術を整理し、臨床応用ができるようになる。 2. 臨床医学の知識と技術を修得し、作業療法を実践的に展開できるようになる。									
学修者への 期待等	1. 授業で使用する資料に従って予習すること。 2. 復習は授業の終わったその日のうちに必ず行うこと。 3. 授業で理解できなかったところはそのままにせず、自分でも調べ、疑問は質問すること。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	運動機能学1：上肢				事前に、国試の達人 運動解剖生理学編と臨床医学編、ヒント式トレーニングの各領域の問題を解いておくこと。(概ね60分程度)				小松 佳路	
2	運動機能学2：下肢								小松 佳路	
3	運動機能学3：体幹・顔面								小松 佳路	
4	運動機能学4：姿勢・歩行								小松 佳路	
5	解剖生理学1：呼吸器系								荒牧 隼浩	
6	解剖生理学2：循環器系								伊藤 大亮	
7	解剖生理学3：腎臓・泌尿器系								伊藤 大亮	
8	解剖生理学4：消化器系								伊藤 大亮	
9	生理学1：神経、脳、脊髄								鈴木 裕治	
10	生理学2：体性感覚								鈴木 裕治	
11	生理学3：運動、反射								鈴木 裕治	
12	生理学4：特殊感覚、自律神経								鈴木 裕治	
13	生理学5：細胞、内臓								鈴木 裕治	
14	内科学1 循環器疾患、代謝性疾患								齋藤 佑樹	
15	内科学2 呼吸器疾患								齋藤 佑樹	

回	授業計画	準備学修	担当	
16	内科学3 消化器疾患 内分泌疾患	<p>事前に、国試の達人 運動解剖生理学編と臨床医学編、ヒント式トレーニングの各領域の問題を解いておくこと。(概ね60分程度)</p>	高橋 慧	
17	内科学4 腎臓・泌尿器疾患		高橋 慧	
18	人間発達学		外里 富佐江	
19	病理学1 感染、炎症、腫瘍		熊谷 竜太	
20	病理学3 病理所見、病因		熊谷 竜太	
21	整形外科学1 骨折、関節リウマチ、OA		高橋 慧	
22	整形外科学2 脊柱・脊損、切断 他		高橋 慧	
23	臨床心理学1 防衛機制、学習理論		熊谷 竜太	
24	臨床心理学2 心理検査・心理療法		熊谷 竜太	
25	神経内科学1 脳血管障害、高次脳機能障害		戸田 祐子	
26	神経内科学2 末梢神経障害、筋疾患、変性疾患 他		戸田 祐子	
27	リハビリテーション医学 (臨床リハ医学)		平山 和美	
28	精神医学1 精神症状		須藤 あゆみ	
29	精神医学2 統合失調症他		須藤 あゆみ	
30	精神医学3 認知症		須藤 あゆみ	
教科書	『PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編改訂第2版』ヒントレ研究所 編 南江堂 『PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編改訂第2版』ヒントレ研究所 編 南江堂 『系統看護学講座 基礎専門分野 解剖生理学 人体の構造と機能①』坂井 建雄 医学書院* *1年次購入済み			
参考文献	『国試の達人PTシリーズ2023年 運動解剖生理学編 第28版』アイペック 『国試の達人PTシリーズ2024年 臨床医学編 第25版』アイペック その他、適宜指定する			
備考	1～13回、28～30回：PT・OT合同授業			

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--